

平成 22 年 3 月 1 日
株式会社 山梨中央銀行

確定拠出年金運営管理業務の受託について

株式会社山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）は、中部食品株式会社グループ（有野 義人社長）の確定拠出年金の運営管理業務を受託いたしましたので、下記のとおり概要をお知らせいたします。

なお、本件を含め、当行が確定拠出年金の運営管理業務を受託した企業数は 46 社となりました。

記

< 受託概要 >

受託先	中部食品株式会社グループ
受託先住所	甲府市国母 6 - 2 - 38
従業員数	372 名
導入時期	平成 22 年 3 月 1 日
導入形態	総合型()
プラン名	東京海上日動火災保険株式会社提携 『山梨中銀 総合型 確定拠出年金プラン』
導入の目的	平成 24 年 3 月末で実質的に廃止されることが決定した「税制適格退職年金制度」の代替制度として導入。 確定拠出年金は公的年金を補完するものとして位置付け、従業員の老後の生活の安定化、資産形成の自助努力の支援を目的として導入。

企業ごとに年金規約を作成する「単独型」とは異なり、一つの年金規約で複数の企業が参加できる確定拠出年金プランで、業種や地域、資本関係、企業規模に関係なく、どの企業でも参加することができます。中小企業のみなさまにとっては、本プランを導入することで、確定拠出年金の制度運営にかかる「事務負担」や「コスト」を軽減することができます。

当行は、企業の退職年金制度の見直しや福利厚生制度の充実のため、今後も確定拠出年金制度導入に向け支援を行ってまいります。

以上